



内田えつし県議会サポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855

千葉市中央区市場町2番13号

電話 043 (227) 7411

「鬼怒川護岸決壊、他人事でない」

浦安市の治水の要 護岸・排水機場の整備を!

12月県議会 一般質問

内田議員 私の地元浦安市でも道路や駅などに海抜情報が表示されているが、他の地域と大きく違う点は、表示される海抜が小数点以下の場所が多くあるということだ。

内田議員 旧江戸川の最下流の三角州にあるまちなので、当然といえば当然だが、敏感にならざるを得ない。今年9月の台風18号から変わった低気圧の影響による大雨そして常総市をはじめとする鬼怒川護岸の決壊は他人事ではない。もし、旧江戸川護岸が決壊したとすれば、浦安市、市川市行徳地区で



登壇し一般質問を行う内田悦嗣県議

安心・安全なふるさとづくりに全力を挙げている内田悦嗣県議(浦安市選出、3期)は12月県議会一般質問を行い、地元浦安市の治水に関連して、排水機場や護岸整備の県の施策、方針を質しました。また、首都高速湾岸線舞浜入口の道路管理を浦安市が行っている問題を取り上げ、「異常な状況で、首都高速道路株式会社が管理すべきだ」と迫りました。内田県議の質疑と知事ら県執行部の答弁を特集します。

施設の能力向上については、地球温暖化による海面の水位上昇や雨の降り方による影響、施設の沈下などにより、既存の排水機場や護岸等の再整備が必要となった場合に、検討することとしています。

なお、3つの排水機場については、設置後、約40年経過していることから、県では、定期点検の結果をもとに、機器の不具合が生じる前に部品の交換や整備を行う予防保全型の長寿命化計画を策定し、維持管理を行っています。

要望 内田議員 排水機場に関して、ポンプだけでなく、その関連部品等についてもきちんとメンテナンスをしていただきたい。

境川河口水門と排水機場整備検討を要望 内田議員 境川河口部の水門、排水機場の整備について、どのように取り組んでいくのか。

県土整備部長 境川については、河口から東水門までの約3キロメートル間で高潮護岸が完成しており、高潮で想定される潮位の高さは確保されているところです。

河口部の水門、排水機場の整備については、将来計画高潮位の見直しが行われるなど、既存の護岸及び境川排水機場の再改修が必要となったときの検討課題と考えております。

要望 内田議員 境川河口の水門と排水機場

について、市と協調して整備に向けた検討を進めるよう要望する。

内田議員 旧江戸川護岸の耐震対策の進捗状況及び富士見地区の緩傾斜護岸整備の見通しはどうか。

県土整備部長 旧江戸川護岸の耐震対策工事については、浦安市内の3・1キロメートルのうち2・7キロメートルが完了したところです。

現在、当代島地区において0・1キロメートルの工事を実施しており、残る0・3キロメートルについて、早期に耐震対策が完了するよう努めてまいります。

また、高潮対策として整備する富士見地区の緩傾斜護岸については、平成35年度の完成を目指して今年度測量に着手し、来年度以降、護岸の詳細設計を行ってまいります。

要望 内田議員 一日でも早く安心できるように、護岸の整備を要望する。

また、堀江ドックの再整備に向けた取り組みを進めていただくよう要望する。

内田えつし県議 プロフィール

経歴

- 昭和40年 浦安市(当時町)堀江生まれ
- 昭和63年 浦安市役所入庁
- 平成15年 浦安市議会議員当選
- 平成19年 千葉県議会議員当選
- 平成27年 千葉県議会議員三選
現在三期目

現職

- 県議会 文教常任委員会委員
- 自民党 政務調査会副会長

●県政や浦安市のご相談はお気軽にどうぞ—

内田えつし 県議事務所

〒279-0041

浦安市堀江3-22-1

TEL.047-351-6030

首都高速湾岸線舞浜ランプ

「浦安市管理は不適切」

内田議員 千葉県内の首都高速道路に関して、浦安市には全国でもあまり例を見ない状況が存在している。浦安市道幹線6号から首都高速湾岸線に接続する浦安市道8—43号線、舞浜連結路、舞浜ランプと言われている入口であり、この部分の道路管理者は浦安市であり、実際に管理も浦安市が行っている。

一般の市町村が都市高速の権原を持ち、ましてやその管理を行っているという事例はなかなかないと思う。道路の適正な管理ということ考えた時、この浦安市道8—43号線舞浜連結路については、やはり権原を千葉県が持ち、道路管理者として他の首都高速道路の出入口と同じように、管理していくことが、道路交通の円滑化と安全確保につながるのではないかと。

そこだろうか？が、首都高速湾岸線の舞浜、浦安、千鳥町の各出入口の権原はどのような状態になっているのか。また、管理はどのような状態になっているのか。

県土整備部長 首都高速湾岸線と浦安市道を接続する、舞浜入口の土地の所有権は、首都高速湾岸線と国道357号の区域を除いて浦安市にあり、管理は、浦安市が行っています。

有権は、県または国にあり、管理は、首都高速道路株式会社または国が行っています。

議場の自席で再質問と要望を行う内田悦嗣県議



内田議員 舞浜連結路について、県が権原を持ち一般県道294号の区域として道路認定し、他のランプと同様の管理をしていくべきと考えがどうか。

県土整備部長 舞浜連結路は、平成13年9月に東京ディズニーシー開園に伴い、浦安市舞浜地先の交通対策として浦安市が整備を行い、市と首都高速道路株式会社との協定に基づき、市が管理しています。

この連結路は、実質的に高速道路の一部をなすものであり、市が権原を持ち管理していることは一般的ではありません。県では、これまでも首都高速道路の施設として管理するよう首都高速道路株式会社と調整しているところであり、調整が整った際には、県道として認定することを考えています。

内田議員 高速道路を市が管理して、

道路清掃、点検等の管理費用を拠出しているケースは異常な状況だと思う。県道部分の管理費用を県は首都高速に払っていない。こういった状況を是正して本来の形に早期に戻していただきたいと思う。

舞浜ランプは本線と同様に県道に認定し、首都高速道路株式会社が管理するよう、しっかりと調整をしていただくよう、強く要望する。

健康福祉部長 県では、「障害のある人の情報保障のためのガイドライン」や「災害時要援護者避難支援の手引き」などにおいて、災害時における障害のある方に対する情報提供に関する配慮について記載しており、県の機関及び市町村や関係機関に対して周知を図ってきたところです。

今後は、市町村における先進的事例を盛り込むなど、ガイドラインや手引きの充実を図ってまいります。

内田議員 児童虐待防止対策についてうかがう。児童虐待相談対応件数が、平成26年度の速報値等において、前年度と比較して増加しているが、その要因についてどのように認識しているのか。

知事 平成26年度の児童虐待相談対応件数を相談経路別にみると、前年度と比較して、近隣・知人からの相談が417件と最も増加しており、次いで、警察等からのものが83件の増加となつています。

児童虐待対応件数の増加の主な要因としては、児童虐待防止に関する意識の高まりにより、住民からの相談や通報の件数が増えたことに加え、児童の同居する家庭における配偶者からの暴力が、心理的虐待に該当するという認識から、警察の通告が増加したことがあげられます。

また、国における心理的虐待の定義に、兄弟に対する虐待行為の目撃が追加されたことも、児童虐待対応件数の増加の一因となっている。

内田議員 児童虐待防止対策についてうかがう。児童虐待相談対応件数が、平成26年度の速報値等において、前年度と比較して増加しているが、その要因についてどのように認識しているのか。

知事 平成26年度の児童虐待相談対応件数を相談経路別にみると、前年度と比較して、近隣・知人からの相談が417件と最も増加しており、次いで、警察等からのものが83件の増加となつています。

児童虐待相談件数 住民の意識高まり増加

内田議員 児童虐待防止対策についてうかがう。児童虐待相談対応件数が、平成26年度の速報値等において、前年度と比較して増加しているが、その要因についてどのように認識しているのか。

知事 平成26年度の児童虐待相談対応件数を相談経路別にみると、前年度と比較して、近隣・知人からの相談が417件と最も増加しており、次いで、警察等からのものが83件の増加となつています。

児童虐待対応件数の増加の主な要因としては、児童虐待防止に関する意識の高まりにより、住民からの相談や通報の件数が増えたことに加え、児童の同居する家庭における配偶者からの暴力が、心理的虐待に該当するという認識から、警察の通告が増加したことがあげられます。

また、国における心理的虐待の定義に、兄弟に対する虐待行為の目撃が追加されたことも、児童虐待対応件数の増加の一因となっている。

内田議員 児童虐待防止対策についてうかがう。児童虐待相談対応件数が、平成26年度の速報値等において、前年度と比較して増加しているが、その要因についてどのように認識しているのか。

知事 平成26年度の児童虐待相談対応件数を相談経路別にみると、前年度と比較して、近隣・知人からの相談が417件と最も増加しており、次いで、警察等からのものが83件の増加となつています。

また、所轄署が児童相談所とともに市町村の要保護児童対策地域協議会に参加し、平素から情報を共有しています。さらに、児童相談所職員の対応能力の向上を図り、児童虐待対応件数の増加の一因となっている。

内田議員 パスポート発給事業についてうかがう。市町村への旅券事務の再委託に当たって、県はどのように支援していくのか。

総合企画部長 旅券事務の再委託を円滑に進めるためには、県として適切な支援を行っていくことが、重要であると認識しております。

そのため、必要機器等物品の整備費補助や、再委託後の事務処理件数に応じた

交付金の交付などにより、財政的に支援する方向で検討を進めているところです。また、事前に市町村職員に対して、十分な実務研修を行うとともに、実務における疑義・相談に対応できる体制を整備するなど、市町村での旅券事務が円滑に行われるよう支援してまいります。

内田議員 都内に通勤する県民の利便性向上のため、千葉県の東京事務所などを活用して、受け取りができるようにすべきと考えがどうか。

総合企画部長 旅券発給につきましては、県民が身近な窓口である市町村でパスポートを取得できるよう、全市町村への円滑な移譲に向けて取り組んでいるところです。

都内における交付には、場所の確保や経費の負担などの課題も多く、移譲後、将来的に検討すべき課題と認識しています。

内田議員 利便性を考慮し、都内での交付を検討していただきたい。

パスポートの発給で 県、市町村を財政支援

内田議員 児童虐待防止に向けた取り組み、これはやはりオール千葉県で取り組むべき大きな課題であり、施設の整備、人員体制等、部局間の連携を取りながら、児童虐待撲滅に向けた取り組みを進めるよう強く要望する。

要望 内田議員 児童虐待防止に向けた取り組み、これはやはりオール千葉県で取り組むべき大きな課題であり、施設の整備、人員体制等、部局間の連携を取りながら、児童虐待撲滅に向けた取り組みを進めるよう強く要望する。

児童虐待防止に向けた取り組み、これはやはりオール千葉県で取り組むべき大きな課題であり、施設の整備、人員体制等、部局間の連携を取りながら、児童虐待撲滅に向けた取り組みを進めるよう強く要望する。

要望 内田議員 児童虐待防止に向けた取り組み、これはやはりオール千葉県で取り組むべき大きな課題であり、施設の整備、人員体制等、部局間の連携を取りながら、児童虐待撲滅に向けた取り組みを進めるよう強く要望する。